



平成25年 2 月22日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社  
代表者 代表取締役社長 山田 英  
(コード番号 4563 東証マザーズ)  
問合せ先 代表取締役副社長 村山 正憲  
電話番号 03-5730-2641

### 第三者割当増資による新株式発行について

当社は、本日開催の取締役会において、第三者割当増資による新株式の発行（以下「第三者割当」といいます。）について、以下のとおり決議致しましたので、お知らせ致します。

#### 記

#### I. 本第三者割当の概要

##### 1. 新株式発行に係る募集の概要

(1) 払込期日	平成25年 3 月11日
(2) 発行新株式数	5,464株
(3) 発行価額	1株につき73,190円
(4) 調達資金の額	399,910,160円
(5) 募集または割当方法 (割当先、及び割当株数)	第三者割当増資（株式会社夢真ホールディングス 1,366 株、 株式会社夢テクノロジー 1,366 株、A-1 合同会社 2,732 株）
(6) その他	金融商品取引法に基づく届出の効力が発生することを条件とします。

##### 2. 募集の目的及び理由

###### (1) これまでの経緯

###### (a) 末梢性血管疾患治療薬「コラテジェン®」（HGF 遺伝子治療薬）の臨床開発

「コラテジェン®」（HGF 遺伝子治療薬）（以下「コラテジェン®」といいます。）は、HGF（Hepatocyte Growth Factor、肝細胞増殖因子）遺伝子を含む DNA プラスミドが原薬である遺伝子治療薬です。HGF は、最初、肝臓の細胞を増やす因子として1980年代に発見され、その後、肝臓の病気の治療薬として研究されてきました。その後、平成7年に大阪大学大学院医学系研究科の森下竜一博士（現臨床遺伝子治療学講座教授）により、HGF 遺伝子に血管新生作用があることが明らかにされました。この発見に基づき、

当社グループは新たに血管を再生する再生医療の薬効を持つ新薬「コラテジェン®」の実用化を目指し開発を進めております。治療対象となる閉塞性動脈硬化症は、糖尿病や高脂血症を患っている患者様の合併症の一つであり、アイ・エム・エス・ジャパン株式会社の調査によると、米国では患者数が55万人規模(平成20年)であり、さらに、国内や欧州等にも対象患者が存在します。当社は、日本オリジナルの発見である「コラテジェン®」の実用化のため、国内のみならず潜在市場の大きい海外での臨床開発を含めた事業展開を進めることといたしました。

この方針の下、当社は「コラテジェン®」の実用化に向け、平成22年9月17日付の当社取締役会において、以下を決定いたしました(平成22年9月17日開示「日本における虚血性疾患治療剤」「コラテジェン(HGF 遺伝子治療薬)」の重症虚血肢における広範囲な適応取得のための追加臨床試験実施について」参照)。

- ・ 平成20年3月27日に厚生労働省に対して行った「コラテジェン®」の日本国内での製造販売承認申請については、承認審査機関である独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)との協議を重ねてきた結果、国内第Ⅲ相試験において本剤の有効性は確認できたものの、重症虚血肢における広範囲な適応の承認を取得するためには更なる臨床データの集積が必要であるとの取締役会の判断を踏まえた後、追加試験を実施の上で再度承認申請すること。
- ・ 「コラテジェン®」の海外での上市を目的とし、欧米において国際共同第Ⅲ相試験の準備を進めている中、本試験は、既にFDA(米国食品医薬品局)より第Ⅲ相のプロトコールに対するSPA(Special Protocol Assessment:特別プロトコール査定)を取得している。加えて米国におけるFast Track(重篤で致命的な疾患に対し高い有効性が期待できる新薬に対し、開発を早めて審査の迅速化を図る制度)指定も取得したことから、今後、当該国際共同第Ⅲ相試験を実施し海外における「コラテジェン®」の承認取得を目指す。

#### (b) 中期経営計画の策定

これらを踏まえ、当社では、平成23年9月26日付の取締役会にて、以下の内容の中期経営計画を決定いたしました。

- ・ 「コラテジェン®」の末梢性血管疾患を対象疾患とした開発については、FDAから第Ⅲ相のプロトコールに対するSPAを取得しており、さらにFast Track指定も取得済みであるが、治験費用が多額になると見込まれるため、提携先を確保し、資金の手当てが出来次第、直ちに開発を開始するべく準備を進める。

#### (c) 提携先の決定

当社では、「コラテジェン®」の末梢性血管疾患を対象疾患とした国際共同第Ⅲ相試験を実行するため、共同開発の提携先を模索し、交渉を継続してまいりましたが、平成24年10月24日付にて、田辺三菱製薬株式会社との間で米国における「コラテジェン®」の末梢性血管疾患を対象疾患とした独占的販売権許諾契約を締結いたしました。本契約により当社は契約一時金、開発の進捗に応じた中間金（マイルストーンフィー）を受けながら、米国での製造販売承認を目的とした国際共同第Ⅲ相試験を実施することが可能になりました（平成24年10月24日開示「田辺三菱製薬とアンジェスMGが本契約を締結」参照）。

## (2) 資金調達の目的

今回の資金調達は、中期経営計画に基づき、「コラテジェン®」の末梢性血管疾患を対象疾患とした国際共同第Ⅲ相試験の実施に関する初期費用に充当いたします。

平成25年に治験薬の製造と病院との契約に約12億円程度の初期費用が必要になる為、今般の調達資金はその一部として利用します。不足分については契約一時金を予定しております。

## (3) 割当予定先の選定理由

当社を取り巻く現在の経営環境及び当社の財政状態に鑑み、公募増資や銀行等の金融機関からの借入による資金調達が極めて厳しい状況にあるとの認識のもと、当社が置かれた状況を勘案いたしますと、開発中の医薬品の早急な上市、早期黒字化に向けた経営基盤の安定及び業容拡大が必要不可欠であり、調達の確実性及び費用を考慮し、第三者割当増資による資金調達を選択し、平成24年9月から割当先を選定するため複数の投資家と交渉してまいりました。その中で、当社代表取締役社長の山田が懇意にしている富田雅史氏（MKコーポレーション合同会社(東京都世田谷区、代表社員：富田雅史、主として経営コンサルティングを行う)の代表社員）が前職において外資系投資銀行にて富裕層向けの営業を担当していたことから、当社の状況を詳細に説明したところ、MKコーポレーション合同会社において投資家の仲介を引き受けていただくこととなり、平成25年1月に当社とのアドバイザー契約を結ぶこととなりました。

割当予定先である株式会社夢真ホールディングスは、MKコーポレーション合同会社より平成25年1月に紹介頂き、当社は代表者を含む役員との面談を通じて説明を行い、協議をかさねました。その結果当社の事業戦略、資金の必要性及び時期等をご理解頂いたうえで夢真ホールディングスの資金運用の一環として、今回の資金調達の支援をしていただくことになりました。

また、割当予定先である株式会社夢テクノロジー（株式会社夢真ホールディングスの子会社）は、MKコーポレーション合同会社より平成25年1月に紹介頂き、当社は

代表者を含む役員との面談を通じて説明を行い、協議をかさねました。その結果当社の事業戦略、資金の必要性及び時期等をご理解頂いたうえで株式会社夢テクノロジーにおける中長期的な資金運用として、今回の資金調達の支援をしていただくことになりました。

また、A-1 合同会社については、同社の代表者である宮澤栄一氏と富田雅史氏が懇意にしている関係で、MK コーポレーション合同会社より平成 25 年 2 月に紹介いただき、当社の代表取締役社長である山田が当社の戦略及び資金需要を説明し、本第三者割当増資を A-1 合同会社における中長期的な資金運用として納得していただきご支援いただくこととなりました。なお、割当先を宮澤栄一氏個人にする案もありましたが、宮澤栄一氏が代表取締役を務める別の上場会社（株式会社デジタルハーツ）と一線を画しながらバイオベンチャー等の支援のために、本業に影響の無いように A-1 合同会社を割当先とすることとなりました。

#### (4) 第三者割当による株式の発行を選択した理由

当社を取り巻く現在の経営環境及び当社の財政状態に鑑み、公募増資や銀行等の金融機関からの借入による資金調達が極めて厳しい状況にあるとの認識のもと、当社グループが置かれた状況を勘案いたしますと、開発中の医薬品（パイプライン）の早急な上市、早期黒字化に向けた経営基盤の安定及び業務拡大が必要不可欠であり、迅速かつ確実性のある方法により資金を調達する必要があります。以上の理由により、調達の確実性及び費用を考慮し、第三者割当増資による資金調達が最善であると判断致しました。

### 3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

#### (1) 調達する資金の額

- ① 払込金額の総額 399,910,160 円
- ② 発行諸費用の概算額 29,000,000 円
- ③ 差引手取概算額 370,910,160 円

- (注) 1. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。  
 2. 発行諸費用の内訳は、割当候補紹介料、候補先の属性調査、弁護士費用、登録免許税等で、概算で 29,000,000 円を予定しております。

#### (2) 調達する資金の具体的な使途

具体的な資金使途	金額（百万円）	支出予定時期
国際共同治験に関する初期費用	370	平成 25 年 3 月～平成 25 年 12 月

※調達資金を実際に支出するまでは、銀行口座にて管理いたします。

#### 4. 資金使途の合理性に関する考え方

上記「I. 本第三者割当の概要 3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期（2）調達する資金の具体的な使途」に記載する取組に資金を使用することは、当社の企業価値向上及び競合優位性確保等に資するものであり、合理的な使途であると判断しております。

#### 5. 発行条件等の合理性

##### (1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

発行価格につきましては、当社株式の株価動向、市場動向、本第三者割当増資で発行される株式数等を勘案し、本第三者割当増資に関する取締役会決議日の直前営業日までの直近1ヵ月間（平成25年1月22日から平成25年2月21日）の株式会社東京証券取引所マザーズ市場における当社株式の終値の平均値である1株73,190円といたしました。

なお、本第三者割当増資に関する取締役会決議日の直前営業日の終値は1株78,400円（ディスカウント率6.6%）、取締役会決議日の直前営業日までの直近3ヵ月間の終値平均値は1株61,361円（プレミアム率19.3%）、取締役会決議日の直前営業日までの直近6ヵ月間の終値平均値は1株62,702円（プレミアム率16.7%）であります。

発行価格算定において、直近1ヵ月の平均価格を基準とした理由は、昨今の不安定な株式市場や、当社の株価が平成25年1月23日から急激な売買高を記録するようになり、前営業日である1月22日の終値53,330円から1月28日の終値89,500円と、4日間に67.9%の高騰を示したため、発行決議日前の一時的な株価を基準として採用するよりも、直近の一定期間の平均株価という平準化された値を基準とすることが客観性が高く合理的であると判断したためです。

また、当社監査役3名（全員が会社法上の社外監査役）から、取締役会における上記算定根拠による発行価格の決定は、当社株式の価値を表す客観的な値である市場価格を基準にしており、割当予定先に対し特に有利でない旨の見解を得ております。

##### (2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当増資により、新たに発行する株式数は、普通株式5,464株であり、平成25年2月21日現在の当社発行済株式総数136,069株に対して4.0%の希薄化が生じることとなります。しかしながら、本第三者割当増資は、当社の今後の事業拡大や企業価値の向上に寄与するものと考えており、今回の発行数量と希薄化の規模は合理的であると判断しております。

#### 6. 割当予定先の選定理由等

##### (1) 割当予定先の概要

（平成24年9月30日現在）

名称	株式会社夢真ホールディングス		
本店の所在地	東京都文京区大塚3-11-6		
代表者の役職・氏名	代表取締役会長兼社長 佐藤 真吾		
事業内容	建築技術者派遣事業		
資本金	805,147千円		
設立年月日	昭和55年10月		
発行済株式数	74,573,440株		
決算期	9月30日		
従業員数	1,225人		
主要取引先	東急建設株式会社、株式会社鴻池組、株式会社竹中工務店		
主要取引銀行	みずほ銀行、りそな銀行		
大株主及び持株比率	佐藤真吾	35.21%	
	有限会社佐藤総合企画	12.52%	
	佐藤淑子	4.46%	
	深井英樹	1.54%	
	バンク・オブNYノントリーティ	1.18%	
当社との関係等			
資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社との関係者及び関係会社との間には、特筆すべき資本関係はありません。		
人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社との関係者及び関係会社との間には、特筆すべき人的関係はありません。		
取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社との関係者及び関係会社との間には、特筆すべき取引関係はありません。		
関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社との関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。		
最近3年間の財政状態及び経営成績（連結）			
連結決算期	平成22年9月期	平成23年9月期	平成24年9月期
連結純資産	1,956百万円	1,757百万円	2,335百万円

連結総資産	5,082百万円	6,629百万円	7,669百万円
1株当たり連結純資産（円）	31.25円	26.60円	35.85円
連結売上高	4,861百万円	6,816百万円	10,982百万円
連結営業利益	519百万円	542百万円	1,194百万円
連結経常利益	552百万円	451百万円	1,295百万円
連結当期純利益	430百万円	102百万円	738百万円
1株当たり連結当期純利益（円）	6.71円	1.71円	12.62円
1株当たり連結配当金	2.00円	2.00円	4.00円

（平成 24 年 9 月 30 日現在）

名称	株式会社夢テクノロジー		
本店の所在地	東京都品川区大崎一丁目20番3号		
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 佐藤真吾		
事業内容	エンジニアアウトソーシング事業 他		
資本金	869,650千円		
設立年月日	平成1年7月13日		
発行済株式数	57,120株		
決算期	9月30日		
従業員数	644人		
主要取引先	セイコーインスツル株式会社、大同信号株式会社		
主要取引銀行	みずほ銀行、りそな銀行		
大株主及び持株比率	株式会社夢真ホールディングス	84.61%	
	夢テクノロジー従業員持株会	2.52%	
	エイチ・エス・アシスト株式会社	0.49%	
	大阪証券金融株式会社	0.40%	
	湯佐健治	0.32%	
当社との関係等			
資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき資本関係はありません。		

人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき人的関係はありません。
取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき取引関係はありません。
関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。

最近3年間の財政状態及び経営成績

決算期	平成22年9月期	平成23年9月期	平成24年9月期
純資産	1,423百万円	1,260百万円	1,475百万円
総資産	2,268百万円	2,079百万円	2,433百万円
1株当たり純資産(円)	25,140.32円	22,075.22円	25,783.03円
売上高	4,290百万円	4,196百万円	3,746百万円
営業利益	256百万円	125百万円	249百万円
経常利益	256百万円	125百万円	270百万円
当期純利益	219百万円	△178百万円	255百万円
1株当たり当期純利益(円)	3,879.52円	△3,134.68円	4,473.02円
1株当たり配当金	-円	-円	-円

名称	A-1 合同会社
本店の所在地	東京都港区南青山一丁目3番1号
代表者の役職・氏名	代表社員 宮澤栄一
事業内容	有価証券の保有、運用、管理、売買、他
資本金	金300万円
設立年月日	平成20年6月2日
決算期	4月30日
従業員数	1名
主要取引先	三菱東京UFJ銀行
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行



主たる出資者及び出資比率	宮澤栄一 100%		
当社との関係等			
資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき資本関係はありません。		
人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき人的関係はありません。		
取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき取引関係はありません。		
関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。		
最近3年間の財政状態及び経営成績（単体）			
決算期	平成22年4月期	平成23年4月期	平成24年4月期
純資産	▲2百万円	▲37百万円	▲78百万円
総資産	469百万円	544百万円	657百万円
売上高	106百万円	15百万円	16百万円
営業利益	29百万円	▲36百万円	▲39百万円
経常利益	29百万円	▲43百万円	▲40百万円
当期純利益	20百万円	▲35百万円	▲40百万円

当社は割当予定先の選定にあたり、各割当予定先から、反社会的勢力とは関係がない旨の確認書を受領しております。

また、株式会社夢真ホールディングス、及び株式会社夢テクノロジーについて、株式会社大阪証券取引所に上場していることから、大阪証券取引所に提出している「コーポレートガバナンス報告書」に記載している「内部統制システムに関する基本的な考え方及びその整備状況」を確認し、上記の各割当予定先、その役員及び主要株主が、暴力若しくは威力を用いまたは詐欺その他の犯罪行為を行うことにより経済的利益を享受しようとする個人、法人その他の団体（以下「反社会的勢力」といいます。）ではなく、かつ、これらの反社会的勢力と何らかの関係を有するものではないと判断しております。

他方、A-1 合同会社については、第三者調査機関である株式会社 J P リサーチ&

コンサルティングに調査の依頼をし、反社会的勢力と何らかの関係を有していないことを確認した調査報告書を受領の上、同社が反社会的勢力とは一切関係がないことを確認しております。

以上の確認及び調査を踏まえ、当社は有価証券上場規程施行規則第 417 条第 1 号 g. に基づき、各割当先に関し、株式会社東京証券取引所に「割当を受ける者と反社会的勢力との関係がないことを示す確認書（第三者割当）」を提出しております。

(2) 割当予定先を選定した理由

「I. 本第三者割当の概要 2. 募集の目的及び理由 (3) 割当予定先を選定理由」に記載の通りです。

(3) 割当予定先の保有方針

当社は、本第三者割当増資により発行される株式について、各割当予定先が当社の中長期の成長戦略及び海外戦略を理解して本件の割当先となった経緯の中で、中長期の保有を行う方針であることを口頭にて確認しております。また、各割当予定先が新株式を第三者に譲渡、その他方法により処分、または承継させようとする場合は、事前に当社に通知し、当社の意見及び意向を確認し、尊重した上でこれを行うこととなっております。さらに、割当予定先が発行日より 2 年以内に新株式を譲渡した場合には、直ちにその内容を当社に書面にて報告する旨、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所に報告する旨及び当該報告内容が公衆縦覧に供されることに同意する旨の確約を得る予定です。

(4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は割当予定先である株式会社夢真ホールディングスについて、平成 24 年 12 月 18 日提出の第 34 期有価証券報告書、及び、平成 25 年 2 月 14 日提出の第 35 期第 1 四半期報告書に基づき現預金残高を確認しており、払込に要する財産の存在について確実なものとして判断しております。

また、株式会社夢テクノロジーについても、平成 24 年 12 月 18 日提出の第 24 期有価証券報告書、及び、平成 25 年 2 月 14 日提出の第 25 期第 1 四半期報告書に基づき現預金残高を確認しており、払込に要する財産の存在について確実なものとして判断しております。

A-1 合同会社につきましては代表社員である宮澤栄一氏から A-1 合同会社へ金銭消費貸借契約により 2 億円が振り込まれていることを金銭消費貸借契約及び A-1 合同会社の預金通帳により確認しており、それにより 2 億円を超える資金の存在について確認させていただいております。

## 7. 募集後の大株主及び持株比率

	募集前	募集後
塩野義製薬株式会社	6.47	6.22
森下竜一	3.62	3.47
A-1 合同会社	—	2.00
森下真弓	1.68	1.61
小谷均	1.62	1.55
野村証券株式会社	1.22	1.18
株式会社夢真ホールディングス	—	1.00
株式会社夢テクノロジー	—	1.00
中村敏一	0.95	0.91
マネックス証券株式会社	0.56	0.53
計	16.12	19.47

- (注) 1. 上記の割合は、少数点以下第3位を四捨五入して算出しております。
2. 募集前の大株主及び所有株式数については、[平成24年12月31日]時点の株主名簿を基準としております。
3. 野村証券株式会社が平成25年1月、2月に新株予約権を行使しておりますが、割当後の所有株式数及び議決権比率には反映されておられません。また、同社はこの他新株予約権による潜在株式数7,500株を保有しております。

## 8. 今後の見通し

本第三者割当増資による当社の平成25年12月期の連結及び単体の業績に与える影響は軽微であります。

(企業行動規範上の手続きに関する事項)

本件の第三者割当は、希薄化率が25%未満であること及び支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める有価証券上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

## 9. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

### (1) 最近3年間の業績

	平成22年12月期	平成23年12月期	平成24年12月期
連結売上高	286百万円	243百万円	444百万円

連結営業損失	2,010百万円	2,100百万円	1,785百万円
連結経常損失	1,911百万円	1,791百万円	1,716百万円
連結当期純損失	1,967百万円	1,815百万円	1,708百万円
1株当たり連結当期純損失(円)	16,668.71円	14,921.25円	13,354.17円
1株当たり配当金(円)	-円	-円	-円
1株当たり連結純資産(円)	35,019.99円	25,167.62円	12,064.03円

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況(平成24年12月31日現在)

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	131,130株	100%
現時点の転換価額(行使価額)における潜在株式数	32,892株	25.1%
下限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数	36,200株	27.6%
上限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数	21,681株	16.5%

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	平成22年12月期	平成23年12月期	平成24年12月期
始値	139,200円	114,600円	44,600円
高値	185,000円	121,800円	101,300円
安値	72,500円	37,000円	24,530円
終値	114,900円	44,300円	53,500円

② 最近6か月間の状況

	平成24年 9月	平成24年 10月	平成24年 11月	平成24年 12月	平成25年 1月	平成25年 2月
始値	62,500円	66,300円	66,800円	58,700円	54,100円	75,500円
高値	70,300円	75,200円	68,700円	59,100円	99,000円	82,500円
安値	60,700円	60,800円	51,700円	50,800円	42,900円	69,100円
終値	66,600円	65,800円	58,200円	53,500円	78,500円	78,400円

(注) 平成25年2月の株価につきましては、同月21日までの株価であります。

③ 発行決議日の前営業日における株価

	平成25年2月21日
始 値	75,000円
高 値	79,300円
安 値	74,900円
終 値	78,400円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

・第三者割当増資

発 行 期 日	平成23年2月15日
調 達 資 金 の 額	299,993,031円（差引手取概算額）
発 行 価 額	113,763円
募集時における 発行済株式数	118,231株
当該募集による 発行株式数	2,637株
募集後における 発行済株式総数	120,868株
割 当 先	塩野義製薬株式会社
発行時における当初の 資金使途・支出予定時期	上記差引手取概算額については、医薬品の研究開発資金に全額を充当する 予定であります。具体的な使途としては、NF-κB デコイオリゴの医薬品 開発を進めるための研究開発投資として、平成23年12月期に 153,700,000円、平成24年12月期に143,793,031円を充当。
現時点における 充 当 状 況	平成24年3月までに299,993,031円をNF-κBデコイオリゴの医薬品開発 を進めるための研究開発に充当しております。

・第三者割当による第18回乃至第23回新株予約権（行使価額修正条項付新株予約権）発行

発 行 期 日	平成23年11月2日
調 達 資 金 の 額	1,182,080,400円（差引手取概算額）
発 行 価 額	新株予約権1個につき金20,420円（総額2,450,400円）
募集時における 発行済株式数	122,333株
当該募集による 発行株式数	9,282株～30,500株

募集後における発行済株式総数	131,615株 ～ 152,833株
割当先	野村証券株式会社
発行時における当初の資金使途・支出予定時期	上記差引手取概算額については、医薬品の研究開発資金に全額を充当する予定であります。具体的な使途としては、リンパ浮腫を対象疾患とする「コラテジェン®」の研究開発資金として充当する予定です。
現時点における充当状況	調達資金より、平成25年1月までに、94百万円をリンパ浮腫の開発費に充当しております。

・第三者割当増資

発行期日	平成24年6月15日
調達資金の額	198,485,304円（差引手取概算額）
発行価額	34,168円
募集時における発行済株式数	122,333株
当該募集による発行株式数	5,853株
募集後における発行済株式総数	128,186株
割当先	塩野義製薬株式会社
発行時における当初の資金使途・支出予定時期	NF- $\kappa$ B デコイオリゴの医薬品開発を進めるための研究開発投資として、平成24年12月期に70,025,000円、平成25年12月期に143,793,031円を充当する予定です。
現時点における充当状況	平成24年6月～12月までに53,360千円をNF- $\kappa$ B デコイオリゴの医薬品開発に充当しております。

10. 発行要項

- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| (1) 発行新株式数   | 普通株式 5,464株           |
| (2) 発行価額     | 1株につき金 73,190円        |
| (3) 払込金額の総額  | 金 399,910,160円        |
| (4) 資本組入額    | 1株につき金 36,595円        |
| (5) 資本組入額の総額 | 199,955,080円          |
| (6) 申込期日     | 平成25年3月11日（月）         |
| (7) 払込期日     | 平成25年3月11日（月）         |
| (8) 割当先及び株数  | 株式会社夢真ホールディングス 1,366株 |

株式会社夢テクノロジー1,366株

A-1 合同会社2,732株

(9) その他

上記各号については、金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力が発生することが条件になります。

以上